



ゆあさ 議会だより

あたらしい

おともだちが

きてくれました♪

表紙 / ゆあさこども園入園式

もくじ

- 1月臨時会…2 / 議会活動…3
- 3月定例会 / 全員協議会等…4~9 / 一般質問（5人が登壇）…10~15
- 賛否表・編集後記…16

1月臨時会



1月9日（火）に臨時会を開催しました。条例改正1件と工事請負変更契約1件の議案2件を原案の通り可決しました。

手数料徴収条例の一部改正

戸籍法の改正により、本籍地以外の市区町村の窓口でも戸籍証明書等の発行が受けられる広域交付や戸籍／除籍電子証明書提供用識別符号の発行のための手数料の額を定める一部改正です。

町道栖原 35 号線道路改良工事請負変更契約

工事残土の運搬場所変更による費用や、通行安全のための追加変更で約 1,598 万円を増額するものです。

報告事項

令和4年3月に町教育委員会職員が亡くなった件について、教育委員会による原因調査のまとめ、ご遺族とのお話しを経て設置した第三者委員会によるハラスメント調査の結果、それらを踏まえた町の見解及び再発防止策等について報告を受けました。

令和6年能登半島地震災害義援金に協力しました

1月1日に能登半島で発生した地震について、1月臨時会開会に際し、被災された方々に黙とうを捧げました。また、町執行部が行った地震災害義援金の募集に賛同し、湯浅町議会として全議員の協力により集まった10万円を、和歌山県を通じて届けました。

議長・副議長・事務局長研修に参加しました

2月15日（木）・16日（金）の2日間、和歌山市で開催された県議長会主催の議長・副議長・事務局長研修会に参加し、大和大学社会学部社会学科教授 佐々木 正明氏による「プーチンの戦争は今後どう展開するのか」「和歌山県太地町の反捕鯨運動のいま」県市町村課長 千々松 裕治氏による「地方行財政の最近の動向」、県東京事務所主査 西中 啓二氏による「和歌山県東京事務所の概要」の各講演を受講しました。



議長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催しました

2月9日(金) なぎの里町民グラウンドで第20回議長杯グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。議員をはじめ多くの方が参加し、はつらつとプレーを楽しみました。



(第3位)
山本雅子さん

(優勝)
武内常廣さん

(第2位)
竹中紀代美さん

視察研修を行いました

2月20日(火)・21日(水)の2日間、視察研修として岡山県奈義町、兵庫県伊丹市等を訪れました。

令和元年に全国平均を大きく上回る合計特殊出生率2.95を記録し、令和5年2月には岸田総理大臣も視察に訪れるなど国内外から注目を集める「子育て応援の町」奈義町における少子化対策や、江戸時代の酒蔵と店舗から成る国指定重要文化財である町家を、伊丹市立伊丹ミュージアムとして保存公開し、醸造文化の歴史発信に活用している事例を視察しました。





3月定例会

令和6年第1回定例会を3月5日から22日までの日程で開催しました。
本定例会に提案された各会計（補正）予算、条例改正など、提案された議報1件、議案31件、報告1件を原案の通り可決・承認しました。



令和6年度一般会計予算

112億8,618万円（前年度比較約4億6,248万円増）

防犯灯 LED 化事業	3,930 万円
産婦人科診療所運営負担金	1,790 万円
町道湯浅 177 号線無電柱化工事に伴う 測量設計業務委託	1,500 万円

（単位：万円）

項目	予算額	主な歳出の説明
議会費	7,341	議会運営費など
総務費	35 億 1,206	地籍調査事業、企画費、交通安全対策費、湯浅えき蔵運営費、ふるさとまちづくり寄附金事業費、徴税費、戸籍住民基本台帳費、選挙管理委員会費、基幹統計調査費など
民生費	23 億 6,170	総合センター総務費、老人福祉対策費、障がい者（児）対策費、人権啓発推進費、ひとり親家庭医療費、児童福祉費、災害救助費など
衛生費	9 億 2,542	小児インフルエンザワクチン接種助成費、带状疱疹ワクチン接種助成費、環境衛生費、保健センター運営費、健康づくり事業費、各種がん検診、清掃対策費など
農林水産業費	2 億 3,334	農業委員会費、有害鳥獣捕獲報償費、中山間地域等直接支払事業費、耕作放棄地再生事業補助金、農業経営支援事業補助金、田村漁港機能保全工事など
商工費	1 億 2,190	商工会補助金、特産品等開発奨励補助金、創業支援事業補助金、観光協会負担金、各まつり補助金など
土木費	5 億 5,880	町内橋梁補修工事、町道湯浅 126 号線外道路改良工事、栖原ポンプ場改築工事委託、定住促進奨励金、空家除却補助金、同和対策住宅新築資金等貸付事業費など
消防費	3 億 8,897	防災行政無線システム更新工事、災害用備蓄用品購入、自主防災組織補助金、ブロック塀耐震化補助金、湯浅広川消防組合負担金など
教育費	7 億 5,590	学校給食費補助金、卒業記念品、部活動地域移行事業補助金、スクールバス運行业務委託、伝統的建造物群保存地区補助金など
その他	23 億 5,469	災害復旧費、公債費、予備費など
歳出合計	112 億 8,618	

※1 千円単位を四捨五入しているため、合計に差が生じる場合があります。



令和6年度 各特別会計予算・水道事業会計予算 (単位：万円)

項目	予算額	説明
国民健康保険事業	15億 8,204	保険給付費・国民健康保険事業費納付金など
駐車場事業	1,000	駐車場運営費など
介護保険事業	14億 6,733	保険給付費・地域支援事業費など
後期高齢者医療	3億 9,326	後期高齢者医療広域連合納付金・保健事業費など
農業集落排水事業	6,261	農業集落排水使用料、他会計補助金など
	6,330	修繕費、電力料など
	8,024	企業債、国補助金
	1億 734	施設機器更新工事など
水道事業	2億 9,330	給水収益など
	2億 7,593	営業費用など
	2,580	企業債、他会計出資金など
	1億 2,957	久米崎・横田浄水場設備更新工事など

【専決】 令和5年度一般会計補正予算（第6号）

国の経済政策である物価高騰対応重点支援給付金やこども加算給付金事業等を早急に実施するため、歳入歳出予算に5,632万円を追加した専決処分です。

令和5年度一般会計補正予算（第7号）

国の経済政策である定額減税調整給付金事業費等を増額し、有田衛生施設事務組合負担金や商工費、土木費、教育費、災害復旧費の不用額などを減額し、歳入歳出予算を1億3,313万円減額するものです。

令和5年度 各特別会計補正予算 (単位：万円)

項目	補正額	説明	補正後の額
国民健康保険事業	100	高額療養費貸付基金繰入金など	17億 69
介護保険事業	187	給与改定に伴う人件費など	15億 151

☆要望書等☆

3月定例会において、町議会に対し提出のありました下記の陳情書につきまして、写しを全議員に配布しました。

- 年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情



全員協議会

一般会計予算

歳入 ふるさとまちづくり寄附金 27億円

- 問** ふるさと納税について、制度改正の影響は。寄付金額から経費等を差し引いた収入は。
- 答** 令和4年度は歳入34億円のうち経費等を差し引くと35%程度が残りました。令和5年度は10月に制度改正があり、寄付金27~28億円程度のうち経費等を差し引くと5千万円程度の収入減となる見込みです。寄附金増に向けた取り組みを続けます。

歳出 特産品等販売PR推進事業 415万円

- 問** 湯浅町アンテナショップについて、スケジュールや取扱品目等は。
- 答** JR大阪駅に直結する大阪KITTEに7月末オープン予定。町の特産品を中心とするが有田、県内品も検討。広さは15坪程度です。

特産品等開発奨励金 250万円

- 問** 補助金の活用状況はどうか。
- 答** 昨年は5件の予算に対して金山寺みそ、アイスクリームの2件も実績がありました。現在、羽衣国際大学と町内業者さんとで土産品の開発を進めています。
- 要望** 枠を広げて多くの人に利用してもらえるよう取り組んで欲しい。

防犯灯LED化事業 3,930万4千円

- 問** 事業を行って、電気代など、効果による費用回収にどのくらいの期間がかかるか。
- 答** 電気代が下がりますし、修繕費も不要となることから、4年間程度と試算しています。
- 問** 太陽光発電式のものを導入すればより効果が出ないか。
- 答** 機器の費用が高いため、津波の誘導灯など、必要な箇所について検討します。

災害復旧費 4億9,481万8千円

- 問** 災害復旧するための施工業者数は不足しないか。
- 答** 発注方法や入札方法等を考慮しながら、なるべく早く契約できるよう努めます。

町道湯浅177号線無電柱化事業（測量設計） 1,500万円

- 問** 駅前のほか伝建地区での無電柱化検討は。
- 答** 駅前の測量設計、工事完了後に伝建地区の無電柱化に取り組んでいきます。



予防費 4,669万4千円

問 新型コロナ予防接種について、今後の町の関わりは。

答 季節性インフルエンザと同様の「定期接種」となります。町のコールセンターは廃止、接種予約は各医療機関へ直接行います。自己負担等は国が示すワクチン価格をみて補正予算を検討します。

要望 季節性インフルエンザや帯状疱疹ワクチン接種費用助成などを参考に、対象者を絞ったうえで自己負担の助成ができるか研究を。

災害用備蓄品購入 294万2千円

問 東日本や能登半島地震をふまえ、地震や津波に対する備えは。

答 近年はおむつ、生理用品等の備蓄を増やしており、今後は肌着や着替え等の整備も課題です。

問 独居高齢者、障がいのある方等の災害時要援護者のケアについては。

答 各地区の対象者は把握。また各地区自主防災組織立ち上げの支援を進めています。

部活動地域移行事業補助金 702万5千円

問 指導者の確保はできているか。

答 少子化に伴い、チームを組んで大会にでられる体制づくりが課題。地域クラブはまだ難しく、当面は学校の先生に希望を募り、兼業活動での対応を検討しています。

要望 教員の負担が大きくなってくる。町全体にむけて広範に協力を呼びかけてはどうか。

介護保険事業特別会計予算

問 介護サービス給付費が増えてきている。要介護認定率の動向は。

答 令和5年度19.3%でやや増。65歳以上人口が高止まりしている一方、団塊世代の後期高齢者移行により75歳以上人口が増加している状況です。

要望 介護予防について、他団体の取組みも研究しながら参加者数を増やす方策を。

後期高齢者医療特別会計予算

問 直近の被保険者数は。

答 2,262人です。

要望 保険料率は広域連合により定められるが、高齢者の収入に占める保険料の負担が上がる。先進事例をみながら負担軽減策の検討を。



主な条例等

湯浅ふるさと館設置及び管理に関する条例

4月から、現在ふるさと振興課が業務を行っている旧町立図書館に、(一社)湯浅町観光協会が移転することに伴い、建物の名称を「湯浅ふるさと館」と定めるものです。



- 第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正
- 第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

各会計年度任用職員に勤勉手当を支給できるようにするための条例改正です。

問 正職員と会計年度任用職員のそれぞれの職務のすみ分け、人数比等をどう考えているか。

答 正職員については各所属の業務量等、状況に応じて、会計年度任用職員は基本的にその補助と考えています。

要望 会計年度任用職員の定員について一定の基準設定を検討して欲しい。

その他の議案

各施設の指定管理者を指定

「一気通貫」産直加工流通加速化センター、共同浴場宝栄湯、地域福祉センター及び水産業同和対策事業施設の各施設について、前回と同じ指定管理者とすることを議決しました。



宝栄湯



「一気通貫」産直加工流通加速化センター



地域福祉センター

その他の報告

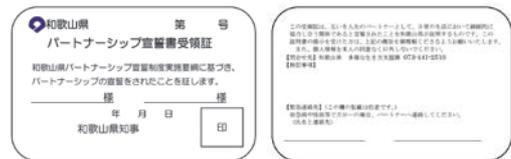
湯浅町未来のまちづくり推進会議について

町の活性のための有識者会議において出された提案について説明を受けました。
議員からは、夜間・休日のタクシー運行や政府発表のあったライドシェアの取組みにかかる現状について質問しました。

和歌山県同性パートナーシップ宣誓制度について

2月1日から、一方又は双方が性的少数者であるふたりが、お互いを人生のパートナーとし、日常生活において協力し合うことを約束するパートナーシップ宣誓を行い、県が宣誓したことを証明する制度が始まることについて説明を受けました。

和歌山県が交付するパートナーシップ宣誓書受領証



(表面)

(裏面)

現場視察を行いました

3月定例会会期中に、栖原ポンプ場建設工事、吉川山崎地区（なぎ園東側）急傾斜地崩壊対策工事、町消防団第10分団消防車庫建設工事の各現場を視察しました。



吉川山崎地区（なぎ園東側）急傾斜地



栖原ポンプ場



消防団第10分団消防車庫（武者越保育所跡地）

※法令・安全基準等に十分留意して現場視察を行っています。



これからの湯浅のために

令和6年第1回定例会一般質問

今定例会で一般質問を行った議員及び質問項目は次のとおりです。
次ページから各議員の質問について、それぞれ作成した内容を質問順に掲載しています。

赤井 洋子 議員 11 ページ

- 湯浅町の防災への取組みについて

石本 一也 議員 12 ページ

- 安心・安全なまちづくりについて

久澄 顕人 議員 13 ページ

- 人事政策について
- 子育て支援・人口減少対策について

三ツ橋 忠男 議員 14 ページ

- 有害獣対策について
- 能登地震に学ぶ

松本 光成 議員 15 ページ

- 少子化対策について



赤井 洋子 議員

女性の視点で地域防災のさらなる充実を

質問①

本年1月の能登地方での地震災害から、町の防災対策を女性の視点から質問します。防災会議や避難所運営のメンバーに女性委員を増やしていただきたい。現在、防災会議のメンバーは、18名中女性委員は3名です。内閣府も、女性委員の割合を令和7年までに3割を目標としています。また避難所対策について「湯浅町避難所マニュアル」には、「最初に中心人物を選出する」「人物の選出にあたっては、女性等様々な避難者の意見が反映できるように配慮します」とあるが、私は中心者が男性なら、複数の女性をサ

ブリーダーに選出と見直していただきたい。「女性が力を発揮するこれからの地域防災には、意思決定の場に女性が参画することが必要不可欠です」当局的考えは。

答弁(総務課長)

現在、防災会議の委員選定方法は、関係団体に任意で推薦をお願いしており、結果的に男性の割合が高くなっています。今後できる限り女性委員を推薦していただけるように配慮していきたいと思っています。また、会議の運営に関しては参加委員の誰かが意見を出しやすい運営にしていきたいと考えています。避難所運営については、中心人物選出に

当たり、男性、女性のバランスが偏ることのないようマニュアルの見直しをしていきたいと思えます。

質問②

避難所の備蓄品の状況を教えてください。

答弁(総務課長)

備蓄品の状況ですが、室内用テントや簡易ベッド、毛布、簡易トイレや大人用と子ども用のオムツ、生理用品、歯ブラシ、消毒液等は、想定避難者数に対して必要数をそろえています。食料については想定避難者数に対して2日分、水は町民全員の1週間分、乳幼児用の粉ミルクや液体ミルクも備蓄しています。食料や水、日用品などの補

給を必要とする物資については、関係機関や地元一般企業と災害協定を締結し、迅速に補給できるように体制を整備しています。

質問③

災害に備えるための啓発運動の推進です。町防災では、防災出前講座で家庭の備蓄を訴えています。備蓄は女性の目線が大事である。様々な機会に家庭での備蓄の重要性を訴え、専門の方や実際に被災地で実態を見てきた方によるセミナーの企画等としてはどうか。

答弁(総務課長)

家庭の備蓄を促すためには、議員ご指摘のとおり、女性の防災意識の向

上は欠かせないと思います。「女性と防災」をテーマにしたセミナー開催等、女性が参加しやすき意見交換できる場を今後設けていきたいと考えています。

要望

女性の視点からの防災を地域に根付かせることは女性だけでなく、子どもや高齢者、障がいのある人、すべての人を通じていくことである。是非今後の取り組みをお願いします。





石本 一也 議員

安心・安全な町づくりへの取り組み

役場の組織体制

質問

先日、議員視察で行った少子化対策の先進地、岡山県奈義町では、安心して子どもを産み、育てられる環境づくりのため、正職員の保育士数名に対して約30名の補助保育士などの人員を配置する等、専門的知識が必要な業務等に外部人材を活用していました。湯浅町のように小さい町では、このように外部人材と連携することで、職員意識や組織風土が変わることが期待され、職員育成という面からも検討すべきだと思います。外部人材、専門人材の登用について、考え方をお聞きます。

答弁(総務課長)

奈義町が活用している総務省の支援制度は、県内でも取り組んでいるところがありますので、本町でも研究を重ねて参ります。

人権教育

質問

湯浅町では部落差別の解消に向け、教員用手引を作成し取り組んでくれています。子どもたちの人権意識の向上に繋がっているのか、せっかく得た知識を反対に差別の道具に使われるのではないかと危惧しています。人権教育のあり方について、考え方をお聞きます。

答弁(教育長)

全教職員が共通認識を

持ち、部落差別をはじめとするあらゆる差別の解消に向け、教員用手引きを作成し、授業を進めています。今後、手引書をもたらしながら子どもを育てて参ります。

要望

町として人権に関する教科とすることを考えて頂きたい。

町民の交通手段

質問

一般ドライバーが有償で乗客を送迎する「ライドシェア」が4月から条件付きで利用できるとの報道もあり、全国的にも同様の課題を抱えた市町が動き出そうとしていますが、町の取組状況を教

えてください。

答弁(副町長)

ライドシェア実施は安全性や人材確保で難しく、デマンドタクシーや乗合タクシーの導入等、県や事業者に相談し、実情に合った交通手段を提案頂いているところであります。全国的な社会問題ですので、国の動向を見つつ、事業者や近隣町と協力をして進めて参りたいと考えています。

隣保館の活用

質問

各隣保館の整備について、特に野下出水文化会館はどのような方針が出ていますか。

答弁(副町長)

宮西、横田、野下出水

の3館における整備方針を令和6年度中にまとめ参りたいと考えています。

要望

以前から提案している総合センター地域内での協議体設置を具体的に進めて行って頂きたい。

物価高騰対策

質問

コロナ禍が落ち着いたとはいえ、幅広い分野での値上げラッシュにより家計の負担は高まる一方です。第5弾のゆあさクーポン事業の実施について検討頂けませんか。

答弁(ふるさと振興課長)

社会情勢も鑑みながら、今後検討して参りたいと思います。





久澄 顕人 議員

子育て支援、移住定住支援のさらなる拡充を

質問①

正規職員、会計年度任用職員の職務のすみ分け、人事異動の目的は。

答弁(総務課長)

会計年度任用職員は業務多忙や職員の欠員発生、軽微な業務など、正職員の補助として任用しています。人事異動は、人材育成・適材適所による職員配置、組織の活性化や事務事業の促進、業務の公平性担保など目的としています。

質問②

職員の超過勤務状況、年休取得状況について問う。

答弁(政策企画課長)

過去5年間の平均超過勤務時間は月平均17時間。直近2か年で月80時間以上の超過勤務は令和3年

度のべ43人、令和4年度のべ14人です。職員組合と協議を行い、管理職が休暇を率先して取得し、休暇を取得しやすい環境づくりに取り組んでいます。

質問③

職員のメンタルヘルス対策と衛生委員会の設置について問う。

答弁(総務課長)

ストレスチェックやメンタルヘルス研修を行い予防に努めています。衛生委員会は、町職員安全衛生管理規定に基づき設置します。

質問④

技術職、福祉職など不足する専門職の確保について。

答弁(総務課長)

全国的に確保が難しくなっており、募集をかけ

ても採用につながらない状況が続いています。専門職の業務は、一般行政職を配置し、事務負担の軽減を図っていますが、引き続き確保に努めます。

質問⑤

若い世代が住みよい町づくりのための施策について。町の過去10年間の人口動態(自然減・社会減)を問う。

答弁(政策企画課長)

結婚新生活支援事業、定住促進奨励金や出産祝い金の増額、学校給食費無償化、18歳までの医療費助成等を行い、施策を取りまとめた冊子「grow with」にて周知を行っています。

答弁(住民生活副課長)

平成25年3月〜令和

5年3月までの10年間で人口は2,286人減少し、1万3,391人から1万1,105人に。出生663人、死亡1,920人で1,257人の自然減。転入2,625人、転出3,703人で1,078人の社会減です。

質問⑥

県が10月から給食費無償化への経費補助を行う予定だが、それにより浮いてくる財源で修学旅行費の助成や学用品助成を行っているかどうか。

答弁(教育次長)

教育的支援について研究を重ねます。

質問⑦

子育て支援条例や子育て応援宣言を発出するなど、子育て支援への決意

質問⑧

を明文化する取り組みが必要ではないか。

答弁(健康推進課長)

先進事例を踏まえて、発出・発信方法を研究します。

質問⑨

人口減少対策として、移住定住促進策と今後の取り組みは。

答弁(ふるさと振興課長)

相談体制を整えていますが、町内にお試し住宅もなく、住居として紹介できる物件・空き家バンクの登録件数も多くないのが現状です。空き家対策を進める必要があり、総合的に魅力ある町となるよう町全体で移住促進と住民サービスの向上を図って参ります。





三ツ橋 忠男 議員

有害獣対策の現状とこれから 能登地震、想定外の被害への対応

質問①

町内の農家は、電気柵や金属メッシュでの有害獣からの防護に力を入れています。ですが、いまだ被害は少なくならない状況です。絶対数を減らすため、銃猟やわな猟により各地区で頑張ってくれています。現状のイノシシ、シカの捕獲数や被害の推移、有害対策について伺いたい。

答弁(産業建設課長)

年間の捕獲数ですが、令和6年2月時点で、イノシシは130頭、シカは62頭で、被害の推移につきましては、近年捕獲数も増え被害の増加が見込まれます。引き続き、有害鳥獣捕獲報償事業、鳥獣防護柵設置事業などを活用しながら進めたいと考えています。

質問②

檻やくくり罠は捕獲作業が負担になっていますが、IT技術を取り込むことにより効率化できると思います。そして何より捕獲した有害獣をジビエとして活用し、山からの贈り物を生かすべきだと思います。解体技術を持った狩猟者が減ってきていることが課題となっている中、安全で清潔な解体施設の整備が進めば、解体技術継承にもつながり、捕獲した有害獣の有効活用にもつながります。解体、精肉のできる処理施設の整備についてお聞きしたい。

答弁(産業建設課長)

解体精肉処理施設の整備について、日高川町にて国や県の助成金を活用

して施設を設置し、狩猟者が施設を利用して捕獲事例があります。狩猟者の捕獲作業実態や処理施設の必要性等を調査し、有害獣対策に取り組んでいきたいと考えています。

要望

有害獣対策は終わりのない戦いです。攻める事、守る事が農業や住民を守ると思います。以前より報告していましたが、湯浅で初めてのミカンの新品种、「あおさん」が3月13日に国より認可登録されました。すばらしいことです。春のミカンの本命になると思います。久しぶりに攻めのミカン作りができます。県やJAも新品种として改植対象品種になっています。これで弾みがつきます。ミカ

ンの新植には有害獣対策も一番大切なことです。よい機会ですので報告させていただきます。

質問③

正月に、能登半島では大地震、大津波がありまかりです。そして何より思っているのは、すさまじい被害です。インフラは壊滅、集落は孤立し、私達も半島に住み、いつ起こるか分からない災害におびえて生活しています。いつも大災害が起こった時、想定外という文言が使われます。湯浅町ではどのような対策を進めているのか。

答弁(総務課長)

東日本大震災後に防災計画を大きく見直し対策を進めています。住民一人ひとりの防災意識を高

めるための啓発活動を積極的に行っていきたくと考えています。

質問④

災害が大きくなるほど人の力だけでは、どうにもなりません。こんな時すぐに活躍できるのは重機だと思います。建設関係や農家の方は自前で所有されています。所有者と協定を結び、重機の確保ができたなら、いざという時、力を出してもらえるのでは。

答弁(総務課長)

災害時に急がれるのは道路の復旧です。町では建設業協会と協定を締結し、復旧のため体制を整えています。今後個人の重機所有者と支援体制の構築に向けて検討してまいります。





松本 光成 議員

若者や移住者向けの定住促進を

質問①

少子化対策は、国が1994年エンゼルプラン、2003年少子化社会対策基本法、そして最近では2023年こども未来戦略、いわゆる異次元の少子化対策を制定しています。国が責任を持ち国策として様々な施策を実施するのが基本だと思いますが、地方は地方で知恵を出し合いながらできることを実施していかなければ、将来負け組になっていくのではと懸念いたします。若者や移住者に向けた定住促進を図るための施策として、町営住宅の利活用について提案したいと思っております。まず町営住宅の築

年数と入居状況についてお聞きしたい。

答弁(産業建設課長)

公営の集合住宅は4団地あり、なぎ団地築35年、港団地築46年、栖原団地築49年、御殿場団地築51年です。

各団地の入居率は、4団地合計で79%の入居率です。

質問②

いずれも、用途廃止なり建て替えの時期が来ていると思います。

若者や特に子育て世代、町外、県外からの移住者の方に受皿として、敷地や部屋を広くとるような計画はどうか。

答弁(産業建設課長)

老朽化が進む住宅につ

いては、用途廃止を検討しており総合的な判断の下で、様々な課題や問題点を整理し、今後の社会情勢等を加味しながら慎重に検討してまいります。

質問③

子育て世帯や移住者の定住促進に向けて町全体で知恵を絞りながら、空き家を活用した対策についても検討してほしいと要望します。

住宅施策について、他に検討している事や推進していることがあればお聞きしたい。

答弁(政策企画課長)

現在、子育て支援住宅に関する調査研究を進めており、民間企業の力を活用し、良質で快適な子

育てができる賃貸住宅の誘致をすることができな

いか研究を進めています。将来的には定住促進奨励金などを活用しながら、町内での住宅の新築を促し、世代を超えて湯

浅町に住み続けてもらうようなまちづくりを進めたいと考えています。

質問④

子どもを核に、女性に優しい、女性が住みやすい町を目指すとともに子育て世帯、移住者の方にも定住してもらえよう

にしたいと考えています。町長不在なので、副町

答弁(副町長)

長の基本的な考えは、少子化対策は、非常に

大事なことであり公営住宅の建て替えも含めて具体的になんか出来るのかというところを、形として現れるようにしていきたいと考えています。

要望

少子化対策は待ったなしの状況ですので早急に形にしていいただき、しっかり取り組むよう強く要望します。



1月臨時会賛否表

審議結果	議案名等	赤井 洋子	久澄 顕人	松本 光成	石本 一也	山本 年哲	板垣 善夫	三ツ橋 忠男	由良 祥治	横矢 政明	松本 典久
可決	手数料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	工事請負変更契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○

3月定例会賛否表

承認	専決処分の承認を求める件〔令和5年度一般会計補正予算〕	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	湯浅ふるさと館設置及び管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	第1号会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	半島振興対策実施地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	共同浴場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	ひとり親家庭医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	障がい理由とする差別をなくす条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	漁港管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	町立図書館設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	農業集落排水事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	上水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	高額療養費貸付基金設置条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	権利の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	「一気通貫」産直加工流通加速化センター設置及び管理運営に関する条例における指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	共同浴場設置及び管理に関する条例における指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	地域福祉センター設置及び管理に関する条例における指定管理者の指定の件	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	工事委託変更協定の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和5年度介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和6年度湯浅町一般会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和6年度各特別会計予算	○	●*	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和6年度農業集落排水事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○		○
可決	令和6年度水道事業会計予算	○	●	○	○	○	○	○	○		○

(注) 横矢政明議員は議長のため、裁決に加わらない。○は賛成、●は反対、－は退席

※各特別会計のうち国民健康保険事業・後期高齢者医療について反対

編集後記

「有田はみかんの花の香りでいっぱいだ」と街の人に言われています。

戦後七十九年を迎えます。

今の平和は、多くの人々の犠牲の上に築かれたものです。

ともすれば気づかずに毎日を送っている私達ですが世界中では、きな臭く戦争がつづいています。平和の中で生きる喜びを感じながら行動したいと思う季節です。

新年度も始まり、それぞれの夢の実現に向けてスタートを切っている方々に心からエールを送り、共に町の未来を創っていききたいものです。

(三ツ橋忠男)

議会広報編集常任委員会

委員長 久澄 顕人
副委員長 赤井 洋子
委員 山本 年哲
委員 三ツ橋 忠男
委員 由良 祥治